

仙台沿岸エリア

仙台市 塩竈市 名取市 多賀城市
 岩沼市 亶理町 山元町 松島町
 七ヶ浜町 利府町



住宅の再建等が進む荒井駅周辺地区（仙台市）

宮城県のほぼ中央に位置する仙台エリアのうち、沿岸部の市町は、仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町の5市5町です。

環境・生活関連では、震災で被災した岩沼市沿岸6地区の集団移転先である玉浦西地区で「まち開き」が開催されました。防災集団移転事業の県内第1号として工事に着手した同地区では、約300世帯、1千人が新たな生活を始めています。また、岩沼市、亶理町、松島町、七ヶ浜町、利府町では、災害公営住宅の整備が完了しています。

インフラ関連では、仙台市の東部から西部に至る多様な都市機能を結ぶ地下鉄東西線が開業しました。荒井駅など沿岸部に近い沿線では、自立再建の住宅や災害公営住宅、商業施設等の建設も進んでおり、復興の加速と地域の活性化が期待されています。また、仙台塩釜港のコンテナ貨物取扱量は、震災前の水準に回復し、平成27年度には、「北米西海岸航路」「ロシア極東航路」が新設され、企業の輸出入における利便性が向上しています。

仙台沿岸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	3,394人	10,550人
行方不明者	91人	1,238人
全壊	41,546棟	82,999棟
半壊	124,923棟	155,129棟

(平成28年2月29日現在)

応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成28年2月
プレハブ住宅	14,429人	2,988人
民間賃貸借上住宅	37,108人	10,754人
計	51,537人	13,742人

(平成28年2月29日現在)

災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成27年2月	平成28年2月
計画戸数	6,307戸	6,312戸
着手戸数	5,924戸	6,214戸
完了戸数	1,558戸	4,653戸

(平成28年2月29日現在)



玉浦西地区の街並み（岩沼市）



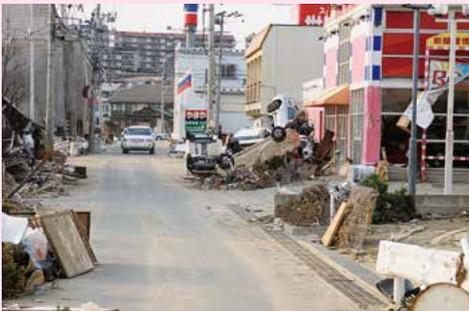
開業した地下鉄東西線（仙台市）

仙台沿岸エリアの定点観測

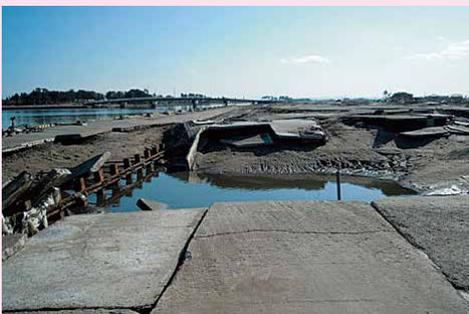
七ヶ浜町葛蒲田浜周辺
津波によりコンテナなどが流れ着いた葛蒲田浜は、新しい防潮堤の工事などが大規模に進められています。



多賀城市町前地区周辺
市街地では、津波が建物に遮られることで「縮流(津波が高さを増し流速を早める現象)」が起こり、被害が拡大しました。



名取市閑上漁港周辺
津波により甚大な被害を受けましたが、岸壁や漁港施設の復旧が進み、特産のアカガイなどの水揚げで活気を取り戻しつつあります。



岩沼市海浜緑地公園周辺
津波被害を受けて一時閉園していましたが、平成27年にバーベキュー広場などがある南ブロックが復旧・再開園し、テニスコートや野球場がある北ブロックも平成29年の再開を目指しています。



塩竈市マリゲート塩釜周辺
船が打ち上げられるほどの津波を受けたマリゲート塩釜と最寄りの大型商業施設をつなぐ津波避難デッキが建設中です(平成28年3月完成予定)。



山元町新坂元駅周辺
津波を受けたJR常磐線がより内陸に移設されるのに伴い、新しい駅が建設中です。周辺では災害公営住宅や商店など新市街地の整備が進んでいます。



2015年3月28日 土曜日

浜の男気 ～ FISHERMAN JAPAN

(塩竈市)



世界三大漁場の一つ、三陸沖。しかし長年の課題であった市場の低迷と後継者不足は、大震災のあと一層深刻になっています。そこに、「漁師ってかっこいいな」と思って職業として選ぶ若者を増やそうと、若手漁師集団が立ち上がりました。

2015年4月8日 水曜日

復興のための発掘。 史都を支えた全国の支援

(多賀城市)



市の面積の約4分の1が遺跡である多賀城市。遺跡に当たる地域では土木工事の前に法令で定められた発掘調査が必要です。復興に伴い急増する発掘件数をこなすために、全国の自治体から専門職員の皆さんが派遣されています。

2015年4月14日 火曜日

震災がもたらした大きな喪失。 「震災を体験した子どものためのサポート」

(仙台市)

大切な人やものを亡くした「喪失体験」によって「悲嘆」を抱える人々に寄り添う「グリーンサポート」。震災遺児も対象とした「NPO法人子どもグリーンサポートステーション」の佐藤利憲さんが、福祉関係者のためにワークショップを開催しました。



2015年4月29日 水曜日

荒浜に、もう一度、 にぎわいとなりわいを

(亶理町)

阿武隈川河口の漁港・荒浜と「鳥の海」。「鳥の海ふれあい市場協同組合」のメンバーは震災の直後から、「畑を、漁を、きっと再開させる。市場も必ず復活させよう！」と立ち上がりました。4年が過ぎ、荒浜には少しずつにぎわいが戻ってきています。



2015年6月3日 水曜日

再起にかけた想いが結んだ強い絆。 「がんばる商店街30選」に選定！

(名取市)

経済産業省「がんばる商店街30選」に、「閑上さいかい市場」が仮設商店街ながらも選定されました。それでも相澤信幸会長は「こーやって商売ができるのは感謝、感謝しかありません。でもまだまだ先が見えないのも事実」と、気を引き締めています。



2015年6月9日 火曜日

復興住宅の入居者へようこそ！ 梅田町ウェルカムサロン

(仙台市)



「梅田町復興公営住宅」で暮らし始めた入居者のために、「梅田町の良いところを知って、早く地域に慣れてほしい」と町内有志が「ウェルカムマップ」を作成。内容紹介を兼ねた交流会「梅田町ウェルカムサロン」が開催されました。

2015年8月12日 水曜日

「もう一度、みんな一緒に暮らすまちを！」 玉浦西地区まち開き

(岩沼市)



「玉浦西地区」は、津波で被災した沿岸部6地区の皆さんが、避難所や仮設住宅での生活を通じてずっと守ってきた地域コミュニティを、ほぼそのまま移して誕生した新しいまちです。約1000人が暮らすこのまちで、まち開きイベントが盛大に行われました。

2015年9月2日 水曜日

本当の復興はここから始まる

(仙台市)

元あすと長町仮設住宅自治会長で、現在は「あすと長町コミュニティ構築を考える会」代表の飯塚正広さん。「復興公営住宅に入ってからの本当の復興の始まり。終の棲家に入ってから、心の復興が始まるんです」と語ります。



2015年9月16日 水曜日

宮城県庁に「東日本大震災復興情報 コーナー」オープン!

(仙台市)



宮城県庁 18 階に「東日本大震災復興情報コーナー」がオープン。復興に向けた取り組みや防災知識などを、パネル、映像、電子書籍、ゲームアプリなどで紹介しています。初日には小学生約 150 人が校外学習で訪れ、学んでいきました。

2015年10月23日 金曜日

ありがとう！ 関上小学校 ～142年の歴史に幕

(名取市)



解体が決まった名取市立関上小学校で、小学校に感謝するイベントが催されました。地域住民やボランティアなど約 300 人が集まり、最後の窓ガラス拭きやミニ運動会、「花は咲く」の合唱などで、懐かしい校舎に別れを告げました。

2015年12月3日 木曜日

たくさんの応援を受けて ～5年ぶりにお神輿が復活しました!

(山元町)



11月1日、山元町花釜地区の青葉稲荷神社で、待ちに待ったお神輿巡幸が復活しました。「5年ぶりにお神輿が帰ってきた!」「子どもたちの元気な声、久しぶり」。全国から駆け付けたボランティアとともに、いっぱい笑顔でお神輿を迎えました。

2015年12月23日 水曜日

ふるさと再生 ～自力再建地区の取り組み

(名取市)



名取市小塚原北地区。震災直後は、支援物資や食料が不足しましたが、住民同士で支え合って乗り切りました。「復興のためにガンバッペ!」と地区住民が手を取り合って取り組み、ふるさとの再生が少しずつ進んでいます。

2016年1月14日 木曜日

“食”をテーマに震災を語ろう! 「3月12日はじまりのごはん」

(仙台市)

震災が起こったあの時、初めて食べたものは何か? それはいつどこ? 思い出すのが辛い、語りにくいテーマを語りやすくするために、食を通して震災体験を語り合い、記憶を保存継承していこうというイベントが開かれました。



2016年1月18日 月曜日

2016年1月1日の情景 ～松島湾「初日の出逢拝船」

(松島町)



小型遊覧船が桟橋ごと流されるなど震災により甚大な被害を受けた松島湾の観光。今は遊覧船も復活していて、元旦に「松島湾初日の出クルーズ」を運航。「すごくキレイで大感動!」「来年もまた乗船したい」とたくさんの声が聞かれました。

2016年2月12日 金曜日

「命を守る科学を学ぶ」

(多賀城市)

2016年4月、宮城県多賀城高校に全国で2例目となる「災害科学科」が誕生します。「将来は研究者や技術者、医療や介護などさまざまな分野の専門家となって、地域や世界の防災・減災のリーダーになってほしい」と小泉博校長は話します。



2016年2月18日 木曜日

未来へ、そして世界に届けたい私たちの感謝

(七ヶ浜町)



七ヶ浜国際村を拠点に活動する子どもたちのミュージカルチーム「NaNa5931」。2015年11月21日から2日間にわたり彼らの最新作「ゴスタン Go Astern」が上演されました。「七ヶ浜が大好き」という子どもたちのメッセージが会場いっぱいにあふれました。